『藍四十八色』より

藍の色の呼び名は、古来よりその微妙な違いで異なる名前で呼ばれてきました。特に、江戸期には、文化の爛熟期を向かえ、色の名前も一気に増えました。季節や自然の移ろいを細やかに感じ取り、色の名前に残していく、日本文化の真骨頂です。ただし、四十八というのは、浄土教の四十八願を起源とした縁起の良い数で、藍色をあらわす呼び方が、たくさんあるので、藍四十八色としたものと思われます。

TOKUSHIMA
SWIMMING
FEDERATION

一般社団法人
徳島県水泳連盟

藍白 あいじろ	甕覗き かめのぞき	白花色 しらはないろ	白藍 しらあい	秘色色 ひそくいろ	空色 そらいろ	水浅葱 みずあさぎ	錆浅葱 さびあさぎ
浅葱 あさぎ	湊鼠 みなとねずみ	藍鼠 あいねず	紺鼠 こんねず	錆鼠 さびねず	水縹（水色） みずはなだ	薄縹 うすはなだ	浅縹 あさはなだ
新橋色 しんばしいろ	縹 はなだ	青藍 せいらん	深縹 こきはなだ	薄藍 うすあい	花浅葱 はなあさぎ	薄花色 うすはないろ	薄花桜 うすはなざくら
花色 はないろ	藤納戸 ふじなんど	納戸 なんど	高麗納戸 こうらいなんど	錆鉄御納戸 さびてつおなんど	錆御納戸 さびおなんど	御召御納戸 おめしおなんど	鉄御納戸 てつおなんど
鉄 てつ	熨斗目花色 のしめはないろ	藍 あい	濃藍 こあい	藍錆 あいさび	紺 こん	紺青 こんじょう	鉄紺 てつこん
紺藍 こんあい	藍鉄 あいてつ	鳶色 かちいろ	青鳶 あおかち	紫紺 しこん	茄子紺 なすこん	鳶返し かちがえし	留紺 とめこん

空色

新橋色

薄藍

TSF の
「飛躍」色

TSF の
「成長」色

TSFの
「協調」色